

ファッション業界の持続可能性

3年A組 川野星奈

ファストファッション

最新の流行を即座に反映

短いサイクルで頻繁に入れ替え

大量に生産して低価格で販売

大量生産・大量消費



環境への負荷が大きい

問題提起

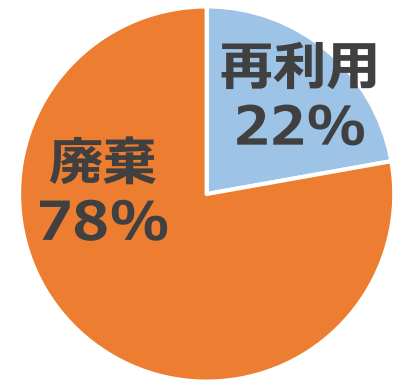
ファストファッションと環境保護は両立できるか？

現状の課題 — ファッション業界による環境への影響

① 大量の繊維ごみ

- 日本の家庭からの衣料ごみは**164.4万t**
(独立行政法人中小企業基盤整備機構による)
- 海洋マイクロプラスチックの**35%は合成繊維** (UNEP,IUCNによる)

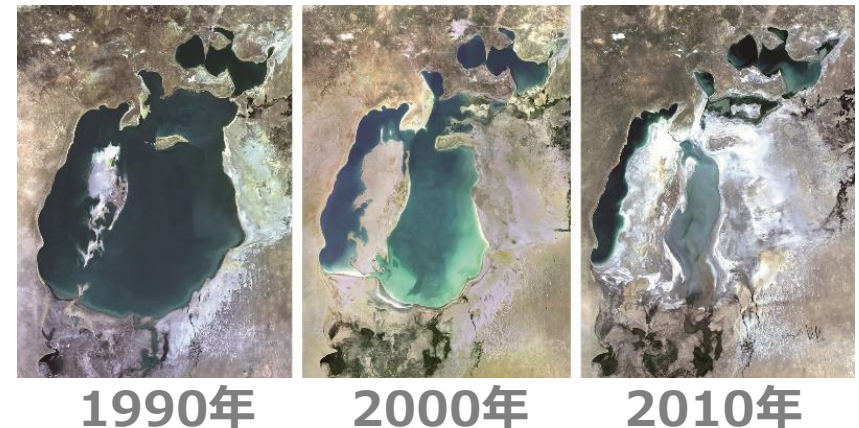
衣料ごみの廃棄率



② 原料の栽培・消費の影響

- 綿花栽培による土壌汚染と水資源の枯渇
- 石油原料の消費による環境破壊

【例】 アラル海の消滅



原因分析 — なぜ環境負荷を軽減できないのか

消費者側

「流行」「新しいもの」に
価値を感じる
(アンケート調査による)

企業側

「流行」を作り消費者を刺激
「新しいもの」を大量生産



ファストファッションから
エシカルファッションへ

倫理的・道徳的

Ethical Fashion

人と環境に配慮して
製造されたファッション

提言 — 今できることを考える

① 私たちにできること

長持ちする
ものを買う

丁寧なお手入れ
で長く使う

役目を終えたら
古布回収へ

流行に
左右されない

② 企業ができること

流行のあり方を
根本から見直す

エシカル
マーケティングの
取り組みを

生分解性合成繊維
の開発

完全な循環サイクル
の構築